

2015年11月18日

第204回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会例会の議事録

部会長・村山元理

第204回例会

11月16日(月) 18:00-20:00 学士会館 308室

参加者：山本、佐藤、宇佐神、古山、速水、尾賀、望月、新川、村山の9名

欠席届：井上、遠藤、竹内、辻井、長塚

*新川信洋氏の新著『カントの平和構想—『永遠平和のために』の新地平—』

(晃洋書房, 2015年)の簡単な紹介、目次と各章概要など本文のコピー11枚配布

・カント[1724-1804]の最晩年の政治哲学的著作で、国際連合の組織化、常備具の廃止などを提言するなどリアリズムな立場から漸進的に人類の平和構築を論じた『永遠平和のために』を現代的な視点から読み直した作品で、一橋大学の社会学博士の学位論文に書き下ろしの第6章を付加した。カント研究に一定の寄与を与えたと自負する。

・予備条項、確定条項、通商精神、自然神学などがキーワード、三批判書との連関が明らかにされた。

【議論内容】

・カントの自然状態とはホッブズの自然状態(戦争状態)と同義。正当防衛を認めている。

・古山先生のカント論議に補足説明あり。

・ドイツでなぜヒトラーが出たのか。第一次世界大戦後の法外な賠償要求。参戦したアメリカの資本家の要求のため。

・ドイツの政治家にカントが正しく理解されなかった。

・カントの位置：西洋思想のダムとなり、近代西洋思想の源流となる金字塔となり比較すべき哲学者がいらない。日本の哲学思想にも甚大な影響を与えた。

速水・山本：東洋思想からの影響は？ ⇒カントの因果論は科学的なもので、仏教思想の影響を受けず。仏教の因果論とは違う。

古山：ビジネスの世界では嘘も方便、粉飾決算は非道徳との認識がない。ビジネス倫理批判について。日本的経営の良さとして、会社のOB会、婦人会。

宇佐神：帰納法、演繹法。アラブの三段論法。

・コミンテルンが戦争を仕掛けた。パールハーバーも。

・ジャックアタリのユダヤ人論

*村山より配布物：日本経営道協会のリード力開発道場15期生の発表会、CoCo壺番創業者宗次徳二氏の経営者としての資質など。社会的事業を営む若手実業家の話。

今後の日程

第205回 12月21日(月) 18:00-20:00 308室

第206回例会 1月18日(月) 18:00-20:00 305室